

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

令和4年 学校教育だより

September 9 第354号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711(内線622)



体育祭「一意奮闘」

写真提供／勝瀬中学校

こどもはうつくしいと

西中学校 三年

和歌月 佳子

うつくしいものをうつくしい
と言おう。

無邪気な笑顔はうつくしいと。
なんでも疑問に思う心はうつ
くしいと。

柔軟な想像力はうつくしいと。

素直な心はうつくしいと。

流す涙はうつくしいと。

夢中になる君はうつくしいと。

うつくしいものをうつくしい

と言おう。

おとなと違う心をもっている。

まだ見ぬ世界がひろがっている。

だから、

こどもはうつくしいと。

を高めるために の問題解決能力の醸成～

指導者 水谷東小学校 教諭 新井 美沙枝

STEM教育の視点を取り入れて

算数に限らず問題や課題に出会ったとき、「どうしたら問題を解決できるのか」と考えることは、大人になっても必要なことです。学習でも、スポーツでも、仕事でも同じです。わからないままにしたり、やり過ぎたりしたら何も解決しません。立ち止まるのではなく、どうすれば解決できるのか多角的に考える必要があります。自分が知っている知識や習ったことを使って様々な角度から問題を解いてみる。「柔軟に考える力」が大切です。そこで※STEM教育の理念も取り入れながら、授業を進めています。

算数の授業において柔軟に考える力を育成するために、①何が問題なのかを理解して、②どのように考えれば解決できるのか見通しを持つ。③他の人はどのように考えたのかみんなで学ぶ。④学んだことをふり返る。ICT機器を活用しながらこの流れをもとにした取組を紹介します。※STEM教育：科学・技術・工学・数学の教育分野を総称した言葉で、自発性、創造性、判断力、問題解決力を養うことをねらいとしています。

問題の把握と見通し

直方体を組み合わせた立体の体積の求め方です。まずはどのように考えれば解決できそうか見通しを持ちます。この時点で「さあやってみよう」と解かせてしまうと苦手な児童はどうしたらよいか分かりません。手つかずです。だから個別にヒントカードを与えるような支援もありますが、それではみんなで授業をしている意味がありません。

そこでみんながつまずきそうなところを解決してから自力

富士見台中学校 3年 皆上 秀真



私たち台中生がこの体育祭で学んだことは、「全員が味方である」ということです。コロナの影響で例年のような体育祭ができず、台中の伝統は途切れしました。

しかし台中生はそこで諦めることはなく、新しい伝統を

体育祭で学んだこと

みんなで築きあげること为目标に生活してきました。では、どうしたら新しい伝統を築きあげられるのか。それは、全員で助け合うことです。5つの団に分かれているため、相手というものはいます。しかし、相手が困っているのなら味方のように助け合い、協力しました。このようなことから「全員が味方」という気持ちがあがりました。



解決に向かいます。

「面積のときも線を引いて二つに分けて考えました。」児童の発言から解決の見通しを持ちます。今まで習ったことを活用して解決する力を身につけます。

自力解決

次に、一人一人が問題に取り組みます。ここで、机間指導をししながら個別に指導しやすくなったことは、大いに褒め、児童の自己肯定感を高めます。友達に自分の考えが伝わるように、ノートやワークシートに考

えたことをまとめていきます

みんなで学ぶ

友達と学ぶというのは、友達がどのように考えたのかをみんなで検討することです。授業では話し合いながら学びを深めていくことを大切にしています。自分の考えを説明することだけではなく、友達の考えた図や式を見て、その人がどのように考えたのかを説明することで「柔軟に考える力」を育成していきます。友達の考えを説明することは、問題を多角的

にとらえ、様々な角度からアプローチして課題を解決するSTEM教育の視点でもあります。

この場面では、特にICT機器の活用が有効です。富士見市で採用しているオクリンクという機能を活用し、友達の考えた式を見て、その人がどのように考えたかオクリンク上の図に書き込みます。この問題では、「右上のへこんだ部分もあるものとして大きな直方体をくり、そこからへこんだ部分を引く」という考えを導きます。

「柔軟に考える力」 ~これからの生き抜くため

ICT機器のよいところは、



全員の考えを一度に比較しながら見られるという点です。分からない児童にとっては、他の友達の考えを途中で見ることもでき、ヒントになります。表現することが苦手なら、友達の考えを参考にしやすいことを伝えておきます。

また、自分の考えがみんなに見られるという緊張感も「わかりやすく書こう。」「もっと工夫してみよう。」という意識につながります。ノートに書いてあるだけだと、早く終わってしまつた児童は待つことが多くな

特別支援教育

「好きな感覚にひたる」

みずほ台小学校 齊藤 恵子

「水に顔をつけるのは嫌な

だよね。」と、苦手なことを

子どもたちは、水中での感覚が好きなのだと感じます。水中で揺らめく光を見ながら、自分の体がたゆたう感覚が好き、夏の日射しを感じながら仰向けでゆらゆらと浮かぶ感覚が好き、水底を蹴つて魚のように水中をすうと進む感覚が好き…。こうした、「この感覚が好き」ということがあると、水遊びも心から楽しめるのでしよう。

「水に顔ををつけるのは嫌なだけど心配、という子どもがけやき学級の大半を占めます。それも当然です。昨年度は、

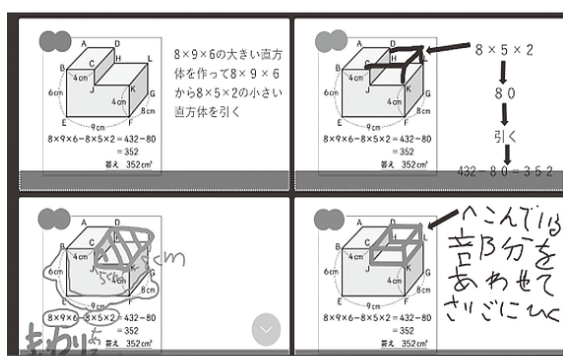
苦手な課題に少しずつ取り組むことで、「少しでもできた。」「もう一回やってみる。」「さつきよりできた。」「もっとできるように頑張る。」と、子どもたちの「泳げるようになりたい」という思いが

支援学級の子どもたちも、自分の好きな感覚をたづねると味わいながら、水遊びを楽しんでスキルアップしていったらしいです。

大によりプールは中止。昨年度は天候不良で一回のみという学年も。少ない機会を充実させるために、今年度は、二年生から六年生までの八人でけやき学級枠をもらってプール

取り組み方に現れます。二回のプールで、もぐることやけのびができ、「やったあ。」の声がとても嬉しそう。プールが大好きな高学年

りますが、ICT機器を活用して、他の友達の考えを共有することで学びが深まります。



まとめ

「みんなの考えに共通していたことは何か。」

ICT機器の活用で、お互いの考えが共有しやすくなり、大切なことがわかりやすくなります。児童はどんなことがわかったのか、発言を引き出しながらまとめたり、振り返ったりすることを大切にしています。

おわりに

柔軟に考える力の育成には様々な考えに触れることが大切

です。それをICT機器がかなえてくれています。児童自身が問題意識を持ち、こうすれば解決できそうと見通しを持つ。自分で考える時間を十分にとる。間違ってもいいのです。あれこれ考え、分らないところは、みんなで検討しながら解決していく。ICT機器の活用も調べ学習やドリルだけでなく、自分の考えを広げる、深めるための道具として授業の中に組み入れ、児童の「こうすればよかったのか!」「もっとやってみよう!」という思いを実感させ、柔軟に考える力を育てていきたいと考えています。

指導・講評

水谷東小学校長

松波 徳美

日常的な授業の中で、自分の考えを広げ、深めるための道具として、ICT機器の活用は効果的です。児童一人一人の良い考えを引き出し、伸ばし、さらに、お互いの考えをすり合わせて柔軟に考え、課題を解決していく力は、未来を生き抜く児童一人一人を支える土台となっていきます。

生きる力をはぐくむ

関沢小学校 保護者 八子 朋弘

今回、このお題をいただき、改めて「生きる力」とはなんだろうかと考えてみました。学力、体力、コミュニケーション能力、嘘をつかず人を思いやる心、ブレずにやり切る精神力……。

きつとどれも必要なんだと思います。そして、それらの力を学校、地域、家庭などではぐくんでいくのでしょうか。

我が家には大学生、高校生、小学生と三人の子どもがいますが、それぞれが成長の過程で、たくさんの方々にお世話になり、指導をいただきました。家族はもちろんのこと、担任の先生、部活動の顧問、習い事の指導者、町会の役員をはじめとする地域の皆様。たくさんの方々から知らず知らずのうちに「生きる力」をつけていただいているのだと思います。



希薄化、家庭の教育力の低下といった課題が顕在化しています。私たち大人は、子どもの「生きる力」をはぐくむためにも、それら課題を解決していきたいと思っています。



心を磨く『黙々清掃』

本郷中学校

本郷中学校では掃除の時間を『黙々清掃』と呼び、話をせずに清掃活動に取り組んでいます。『黙々清掃』は、『良い環境には良い人間が育つ』『清掃を通して、気づく力・感謝する心を身につける』『清掃しながら心を磨く』ことを意識して取り組んでいます。また、今年度からは『掃除』創自』という考えを示し、掃除の時間は将来の自分を創

る重要な時間でもあると生徒に伝えていきます。清掃中の校舎内は静寂につつまれ、机を運ぶ音だけが響きます。これは学校の自慢でもあると同時に、生徒の誇りにもなっています。『黙々清掃』は生徒の心を磨く本郷中学校の伝統となりつつあります。今後は更にレベルアップを目指し、富士見市内で一番綺麗な学校を築いていきたいと思っています。



はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

私のチカラ

西中学校 保護者 岩澤 ゆかり

私には二十一歳の息子と十五歳の娘がいます。子育てを振り返ると、不思議と嬉しかったことは、鮮明に思い出されます。この二十一年間は私自身にとっても成長の日々でした。

思い描いた生活ではないけれどそれは皆同じ。楽しい時間は気持ち次第で作ることが出来る。」と話していました。どんな時でも前向きな気持ちを忘れない息子にいつも感心させられます。

息子は、大学一年時にコロナ禍となり、一年間で通学できたのは健康診断の一日だけ。それでも「オンラインだから挑戦だ」と受講した授業で、好成绩で単位を取得できました。不自由な世の中だった

子どもたちの成長に伴い、私自身も自立のため社会復帰をしました。遅く帰宅をしたり、家事が疎かになったり、考えさせられる事もある中で参加した保護者会。担任の先生が娘

の作った詩を発表してくださいました。その詩が、「私の母は美しい。」

忙しくても相談に乗ってくれる母は美しい
家事に一切手を抜かない母は美しい
家族のことをいつも考えてくれる母は美しい
遅くまで仕事をしている母は美しい
というものでした。

寂しい思いをさせていないかという気持ちがありました
娘は私の事を見ていてくれま



黄金に輝け！南畑の稲！

南畑小学校

南畑小学校では、五年生の総合的な学習の時間を「水田タイム」と名付け、米作りを体験する活動が伝統として受け継がれています。四月には田植えの進め方を学習し、五月には地域の方に教えて頂きながら田植え体験をしました。初めて田んぼに入るという子どももいて「冷たくて気持ちいい！」「ぬるぬるしている！」と新しい感触に大興奮。楽しみながら機械を

使わない苦労を体感しました。九月には稲刈り体験が控えており、子どもたちはその日を今か今かと待ち焦がれています。出来上がった米にはオリジナルのブランド名を付けます。一人一人が考えた意見を持ち寄り、自分達だけのお米を完成させます。その後食べるお米の味は格別なことでしよう。
米作りを通して、米作りが盛んな南畑に生まれた誇りや食の大切さを学んでいます。



した。そして子どもたちは想像以上に成長をしていて、実は私が子どもたちからパワーをもらい、より強い人になれていることを実感しました。
私を「お母さん」にしてくれた息子と娘に『感謝』しかありません。



さあ、今年も稲の香りを含んだ金色の風が地域を包むことでしょう。

教育課題特集

生きる力を

富士見市の給食を通して

諏訪小学校 栄養教諭 澤田 佳祐

私の勤務している富士見市学校給食センターは、市内の全小中学校の給食、約九千食を提供しています。多くの食数を提供しているため、手をかけた献立があまりできない環境ではありますが、ルウやソース、揚げ物の衣付けなど可能な限り手作りの給食ができるよう心掛けています。

コロナ禍になってから、給食では黙食が基本となりましたが、給食が生きた教材であることに変わりはありません。給食を通じて様々なことを感じ、学ぶために献立の工夫を行っています。その時季に合った旬の野菜や果物、魚類などを取り入れて季節を感じてもらえるようにしています。また、地産地消の推進に繋がる、地場産物の活用を積極的にを行っています。主食の米は富士見市産の「彩のぎずな」というブランド米を使用しています。また、富士見市産の小松菜やかぶを取り入れるなど、地場産野菜や果物を使った富士見メンチカツのように、「富士

見」の名が付いた献立も提供しています。
食に関する指導においては、コロナ禍になり調理実習を自粛するなど、授業内容への影響もありますが、感染防止対策をしながら子どもたちの実態や発達段階に応じた食育を市全体で計画的に行えるように努めています。
これからも給食を柱とし、コロナ禍においても発信できることを探しながら、子どもたちの生きた教材「給食」を充実させていきたいと思えます。



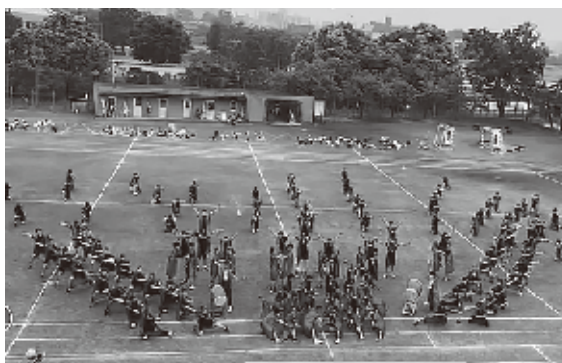


水谷小

異学年集団で学ぶ「水谷博士タイム」

総合的な学習の時間では、自分たちの関心をもとに、ICT 機器を活用し、学年の壁を超えて、水谷産の野菜を育てています。

行事が盛りだくさんの二学期が始まりました。一学期で身につけた各学年での基礎をもとに、二学期は深め、その成果を発揮していく学期になります。一つの行事を成功させるためには、計画を立てて役割を分担し、みんなで心と力を合わせて準備や練習を行います。そのような活動の中から、それぞれの学校の特色が生まれます。
「コロナ禍ですが、今までより、保護者の方や地域の方に来校していただける機会も増えてきました。子どもたちがはつらつとした表情で元気に頑張っている姿を見ていただけるように、各学校の教職員も努力していきます。」
各学校で、地域の方々の力をお借りすることもあると思います。その際は、「ご支援」ご協力をお願いいたします。



水谷中

よさこいソーランが体育祭に舞う

体育祭では、2・3年生が色鮮やかなハッピを身にまとい、鳴子を鳴らしてよさこいソーランを演じました。その姿は、圧巻でした。



富士見特別支援

おもしろかった英語の授業

ロジャー先生、マイク先生ありがとうございました。歌、クイズや自己紹介発表のお勉強が楽しかったです。エアロビクスをまた一緒に踊ろうね。See you!!



南畑小

運動会、鼓笛パレード

南畑小学校伝統の6年生の鼓笛に合わせて、在校生が堂々と入場し、運動会が華やかに開幕しました。

今起きているニュースを知る

富士見市立中央図書館 山田 翔

一〇二〇年に始まった新型コロナウイルス感染症から、世界では大きな社会の変化が起こっています。みなさんは、テレビや新聞、インターネットなどのニュースを通じて、様々な変化に触れる機会があると思います。しかし、ニュースは難しいものもあり、わかりにくい点もあると思います。そこで、今回はニュースで話題になっていることについて知ることができる本を三冊紹介したいと思います。

まずは、『知って話そうニュースの言葉5分でわかる重要ワード』（キッズトリビアクラブ／編 絵本の杜）という本です。この本は、ニュースに出てくるキーワード一つ二ページで紹介しています。説明が短くまとめられているので、読みやすいのが特徴です。ニュースの入門書と呼ぶことができる一冊です。まずはこの本を読むで興味を持ったことについて詳しい本を読むと良いでしょう。

二冊目は、『やさしくわかる17の目標SDGsおはなし絵本』（松葉口玲子／監修 学研プラス 全5巻）です。みなさんも一度は「SDGs」という言葉を聞いたことがあると思います。この本では、SDGsの17の目標について、絵本のおは



富士見台中

オンラインで行った生徒総会

コロナ禍であるため、各教室で行いました。生徒一人一人が、よりよい学校づくりに向け、しっかりと意見を伝えていました。



鶴瀬小

読書イベント 謎解きミッション

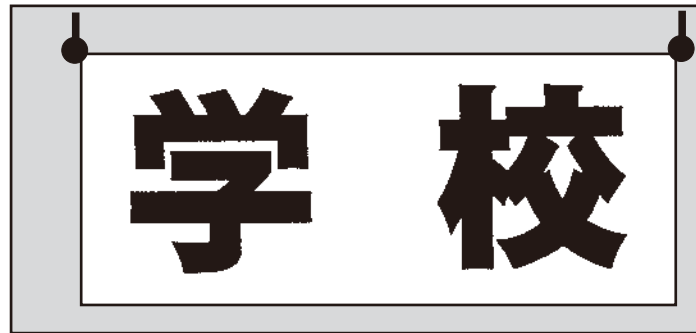
各クラスに配られたミッションシートを完成させるため、多くの児童が、本を借りに図書室を訪れました。



つるせ台小

芝生の校庭でハッピータイム

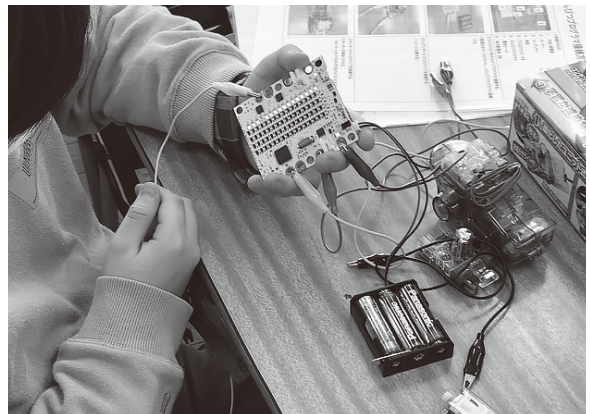
青々とした芝生の校庭で、色別に縦割り活動です。だるまさんが転んだ、ドッジボール…子どもたちの元気な声が校庭に響きました。



本郷中

全力を出しきるぞ!

団長が円陣を組み気合を入れてスタートした体育祭。選手宣誓では、できることへの感謝を述べました。競技以外の応援でも団結力を見せました。



ふじみ野小

STEM教育モデル校

私たちは教科横断的な学び「STEM教育」を行っています。レゴブロックやマイクロコンピュータを使って楽しく学習しています。

なし形式で説明が入っているので、具体的にどんな問題であるかがわかりやすくなっています。そのあとにはきちんとした説明も入っているため、この一冊を読んでおけばどういった問題があるのか知ることが出来ます。まずは17の目標のうち、自分が興味のある目標から読んでみることをおすすめします。

次に紹介するのは『未来をつくる！新しい平和学習』（稲葉茂勝／著 岩崎書店 全5巻）という本です。今年の二月から、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。みなさんもこのニュースには驚いたと思います。この出来事を深く知るには、まず「平和」ということについて知るべきだと私は考えています。この本を読めば、平和というものがどういったものであるのかや、今どういった問題があり、どのように解決しようとしているかを知ることが出来ます。この機会にぜひ平和について知り、平和について考えてほしいと思います。

他にも図書館にはニュースを知るために活用できる本が多くあります。ぜひ興味のあるニュースは図書館で調べてみて欲しいと思います。調べ方がわからないときはお手伝いいたします。図書館職員にお声掛けください。

教育委員会だより

〇令和4年度学校総合体育大会

県大会・関東大会・全国大会 結果

富士見台中学校 隈川 実里(3年)	体操 女子 個人総合 県大会2位 関東大会3位 全国大会出場
富士見台中学校	柔道 男子 団体戦 県大会3位 関東大会出場
富士見台中学校 葛西 太楼(3年)	柔道 男子 個人戦 県大会3位 関東大会ベスト8
富士見台中学校 池田 明日香(2年)	卓球 女子 シングルス 県大会12位 関東大会出場
富士見台中学校 神保 琴美(3年)	卓球 女子 シングルス 県大会5位 関東大会出場
本郷中学校 川岸 龍太(2年)	テニス 男子 シングルス 県大会7位 関東大会出場
本郷中学校 中谷 陽香(1年)	水泳 女子 200mバタフライ 県大会9位 関東大会出場
東中学校 渡邊 瑛太(3年)	水泳 男子 400m自由形県大会6位 1500m自由形県大会3位 全国大会出場
西中学校	男子バレーボール 県大会優勝 関東大会3位 全国大会ベスト16
西中学校 鈴木 瑠華(1年)	水泳 女子 100m平泳ぎ県大会1位 200m平泳ぎ県大会2位 関東大会出場
勝瀬中学校	卓球 男子 団体戦 県大会2位 関東大会ベスト16
勝瀬中学校 秋葉 智貴(2年)	卓球 男子 シングルス 県大会10位 関東大会出場
勝瀬中学校 松野 剛大(3年)	卓球 男子 シングルス 県大会12位 関東大会出場
水谷中学校 花谷 秀志(1年)	卓球 男子 シングルス 県大会11位 関東大会出場



ピカピカの一年生

勝瀬小学校 教諭 上村 萌音



入学式、初めての小学校生活にドキドキ、わくわくしながら、すてきな洋服を装ってちょこんと席に座っている一年三組の三十一名の子どもたち。初任者

初めての授業を真つすぐに伸ばして発表をする

初めての授業 けもできるようになりました。

初めての清掃 ほうきやぞうきんの使い方が分からず、困っていました。そんな一年生に、六年生が一つ一つ丁寧に教えてくれました。そのおかげで、だいぶ上手にできるようになりました。

として赴任し、四年目を迎えた今年、初めて一年生の担任となりました。子どもたちと一緒に「初めて」の気持ちを大切に、学校生活の基礎をつくっていきたいという思いで、日々、

準備の仕方、食べ方、片付け方等すべてが初めての経験。「どう

これから、すてきな一年生と一緒にたくさん初めての経験をを通して、「仲良く、本気で最後までがんばる子」を目指して、日々子どもたちと共に成長していきます。

編集日記

学校は、夏休みが終わり、二期を迎えました。季節は秋。秋といえば…。皆様は何を想像しますか。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋など、様々ですね。

私はまず、食欲の秋。秋に食欲が増すのは、涼しくなり夏バテが解消されるから。実りの秋は、たくさん美味しい食材が回るから。来る冬に備えて栄養を蓄えるため。様々ありますが、どれも納得です。

読書の秋。暑かった毎日が通り過ぎ、秋風が吹く過ごしやすいつづが訪れます。読書を通して頭だけではなく心も磨くことが豊かになれば人生も豊かになります。お気に入りの本を探し、近々、中央図書館に出かけてみようと思っています。

芸術の秋。慌ただしく過ぎてゆく日々。たまにはゆっくりと美術館で絵画鑑賞などしたいものですね。のんびりとした時間の流れを感じながら気持ちをリラックス…。スポーツの秋。運動不足という四文字が思い浮かびます。明日こそは…ではなく、今を大事にしなければ。いつまでも元気に好きなことを続けるために元気な体を作らなければ。皆様もそれぞれの秋を満喫してください。

(齊藤七実)